

2023年度も事務局長としてご承認いただきありがとうございます。コロナも5類に引き下がり、サークル活動も少しずつもとに戻りつつあります。この機会に都サ連活動も、もとに戻るだけでなく、新しい試みを取り入れて更新する形で活動を再開したいですね。昨年も目標に上げましたが、「親睦」と「情報共有」がキーワードです。都サ連に参加すると仲間が増えて嬉しい、いろいろな情報が得られて楽しい…そんな集まりを目指します。

例えば、担当者会議の他に、ブロックを超えてもっと気軽に集まり、自由におしゃべりする場を1カ月に1回くらい設けて、参加はフリー・話題もフリー…という企画はどうでしょうか？都サ連の事務所（事務局長宅）なら、オンライン参加もOK、飲み物・食べ物あり、しかも時間制限なしでおしゃべりできます。ご賛同いただければ、すぐにでも企画いたします。「硬」と「軟」を上手に活用して誰もが参加しやすい都サ連にしたいです。（事務局長 河野 悠子）

剣持です。2023年度も会計担当としてご承認をいただきありがとうございました。

気づけば、会計を担当させていただいてすでに10年を超えておりました。その間、イレギュラーな事案が起るたびにあたふたしている私が何とか役割を果たすことができたのは、皆さまのご助言とご協力のおかげだと痛感し感謝しております。

現在財政的には少々苦しい状況にありますが、いただいた分担金をきちんと管理して、ご協力いただきながら今年度も乗り越えていきたいと思っています。

2023年度もどうぞよろしくお願いいたします。

（会計 剣持 敦子）

参政権保障委員会を担当しています堀といいます。

私たちの基本的な権利である参政権ですが、この令和の時代に入ってもまだまだ、聞こえない方にとっては、その権利行使にはバリアがある状況です。

1つ例をあげると、皆さん1度は見たことがあるTVでの政見放送。手話通訳・字幕が100%にはなっていません。この改善には、法律改正が必要な部分もあり、ハードルは高いということではありますが、委員会ではそういった課題を把握し、どのようにしたら改善できるのか？この課題を皆さんに知っていただくにはどのような企画が必要なのか？などなど毎月1回、第3月曜日の夜に検討のための会議をしています。

聞こえない人の大切な権利を守るために、一緒に学び・活動しませんか。

（東京都聴覚障害者の参政権保障委員会 堀 浩司）

今年度も福祉対策会議に出席いたします宮崎真理子です。福祉対策会議では昨年度から盲ろう者友の会の代表者が入り、今までなかった盲ろう者の視点も合わせて考える機会が増えました。まだまだ勉強不足で毎回吸収するものがたくさんあります。東京都全体の動向を知りたい方にはピッタリです。随時一緒に活動してくださる方募集中です。

（福祉対策会議 宮崎 真理子）

主にTwitter(X)や大学生手話サークルとの連絡を担っています。

それぞれなかなか具体的な成果を明示できる分野ではなく、上手い人ならもっと派手に出来るのかなーなんて思いながらも、みなさまの応援のもと諦めずに続けてこれています。

適材適所と言えるよう、頑張っていけたらと思います。よろしくお祈りします。

（広報班 大木 知也）

杉本美穂子です。

2023年度も事務局員として活動させていただくことになりました。

引き続き、よろしくお願いいたします。

耳の日実行委員を担当いたします。

コロナに翻弄される数年を経て、漸く以前の活動に戻る兆しが見えてきました。

早くも、「次回の耳の日は、ナイトバーはあるの？」

「古いコーナーは？」などと、訊かれるようになりました。再開を心待ちにしている方も、たくさんいらっしゃるかも知れませんね。実行委員会は、皆さまに喜んでいただける耳の日を目指して、9月から本格的に始動します。来年2月末の本番までの6ヶ月間に、都障館との打ち合わせや、企業・要員説明会なども含めて、約11回の会議がスピーディに行われます。時には、ケンカ…いえいえ、白熱の応酬も！皆さまどうぞ、斬新なアイデアをお寄せください。お待ちしております。

例年、多くの方々の要員ご協力・ご来場ご協力をありがとうございます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

（耳の日実行委員 杉本 美穂子）

あとお一人大御所が控えておりますが、お忙しいようですので、次回デフリンピック裏話でも書いてもらおうかな？と思っております。もちろん本人の了承はもらっておりません。

2023年7月29日(土)・30日(日)品川区天王洲公園サッカー場において、『デフサッカー日本代表候補トレーニングマッチの観戦・交流会』が開催されました。29日に観戦された品川区聴覚障害者協会 三輪 雄幸会長より是非デフリンピックを盛りあげたいとのことで観戦記を寄稿いただきました。

「デフサッカー日本代表候補チーム対品川 CC セカンドの試合を観戦」

デフサッカー男子日本代表候補チームが7月29日(土)、元サッカー日本代表・榎野智章さんが監督を務めるチーム・品川 CC と練習試合を行いました。

試合を観戦・応援しようと予想以上に多くの観客が来ていました。

今まで YouTube でデフサッカーの試合を見た事はありませんでしたが、生で観戦するのは初めてでした。

通常、サッカーという競技は、選手同士が声をかけあい、上手く連携を取りながらプレーをするチームスポーツですが、聞こえない選手同士がどのようなコミュニケーション(ジェスチャー、手話等)方法で、スムーズに意思疎通を行っているのかを知りたいと思い、観戦しました。

結果は、前半3点先取したものの、後半、品川 CC セカンドチームに4点を奪われてしまいました。

しかし、猛暑での試合の中、頑張っている選手達の姿を見て、とても感動しました👏

デフサッカーワールドカップや、2025年のデフリンピックでの活躍を楽しみにしています！

メダル獲得を目指して、頑張りたいと思っています。

ご健闘をお祈りしています。

これからも、皆と一緒にデフサッカーを応援していきましょう！

(品川区聴覚障害者協会 会長 三輪 雄幸)



・デフサッカー日本代表候補チーム n のみなさん

品川 CC セカンドは、神奈川県社会人2部リーグのチームでももちろん聴者のチームです。

この試合を観戦した品川手話サークルの K.S さんは「試合中は選手同士の声掛けやサポーターの声援が聞こえることがあり、試合開始当初は一般的なサッカーの試合と変わらない感じがしました。

それに対しデフサッカー選手の様子を見ると、プレー中の選手同士、また選手監督間のやり取りにはアイコンタクトや手話、指差し、ジェスチャー等によるコミュニケーションが取られ、審判のジャッジもホイッスルと旗によるものでした。

サッカーに限らず、どんなスポーツでも音は重要な要素です。

とりわけ、サッカーはチームプレーであり、選手同士のコミュニケーションが必要不可欠です。

選手が頻りに周囲を注意深く見ている様子や、選手同士の意思疎通の方法など、視点を変えて試合を観戦すると、いつもと違ったサッカーの面白さや楽しさを感じることが出来ました。」との感想を送ってくれました。

また試合後も「来場した子供達から代表候補選手への質問、選手からボールをとってシュートするゲームなどの交流会も実施されていました。」とのことでした。

デフサッカーは、男子も女子も比較的認知度も人気もありますが、それこそ先に報告したデフテコンドーなどは、認知度も人気も低く団体組織すらない状態です。また、今回のようにデフサッカーに限らず、いろいろなデフスポーツ大会が各地で開催されているのですが、何時?どこで?どのスポーツ?の情報がごく狭い範囲でしか発信されておらず、よほど気をつけていないと情報にたどり着けないという現状があります。今回のデフサッカーのテストマッチ&交流会もデフサッカーの関係者とデフリンピックを盛り上げたいという三輪会長の思いからろう協やサークルの機関誌に情報が掲載され、多くのろう者やサークルのメンバーに認知されました。(品川区限定ですが)しかし、それでも一般の人々には情報が届いていませんし、情報が届いたとしても会場まで足を運んでくれるかどうか分かりません。一般の人々にデフスポーツを知ってもらい理解してもらうためにはどうしたらよいか?東京デフリンピックまであと2年しかありません。早急に考え行動しなくてはなりませんね!

最後にみなさんの近隣で開催されるデフスポーツ大会の情報がありましたら都サ連の事務局までお知らせ下さい。